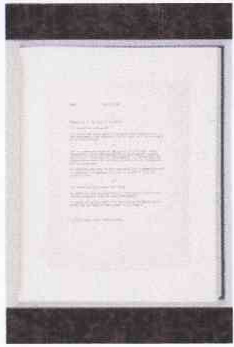
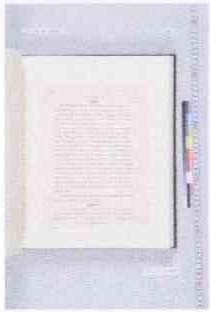


「九条」と「自衛のための武力行使」



マッカーサー3原則の第2

- War as a sovereign right of the nation is abolished. Japan renounces it as an instrumentality for settling its disputes and even for preserving its own security. It relies upon the higher ideals which are now stirring the world for its defense and its protection.
- 国の主権的権利としての戦争は、廃止する。日本は、紛争解決のための手段としての戦争、および自己の安全を保持するための手段としてさえも、戦争を放棄する。日本は、その防衛と保護を、いまや世界を動かしつつある崇高な理想にゆだねる。



GHQ民政局のOriginal drafts

- PREAMBLE
- The people of Japan, desiring peace for all time and fully conscious of the high ideals controlling human relationship now stirring mankind, have determined to rely for their security and survival upon the justice and good faith of the peace-loving peoples of the world.
- ARTICLE I
- War as a sovereign right of the nation is abolished. The threat or use of force is forever renounced as a means for settling disputes with any other nation. No Army, Navy, Air Force, or other war potential will ever be authorized and no rights of belligerency will ever be conferred upon the state.

マッカーサー3原則からDraftsへ

- マッカーサー3原則の2:
- ① War as a sovereign right of the nation
- ② as an instrumentality for settling its disputes
- ③ even for preserving its own security. It relies upon the higher ideals which are now stirring the world for its defense and its protection

- Original Draft: ARTICLE I :
- ① War as a sovereign right of the nation is abolished.
- ② The threat or use of force
- PREAMBLE :
- ③ rely for their security and survival upon

「自衛のための武力行使」の放棄は前文へ

現行憲法

- 前文
- 日本国民は、、、、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。
- 九条
- 1:日本国民は、、、、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

現行・9条と国際条約

- 9条: 国権の発動たる戦争
- パリ不戦条約・第1条: 諸国民の間に今存在している平和的で友好的な関係を永続させるために、国家の政策の手段としての戦争を素直に放棄する時代が来たことを納得し信じます。
- 9条: 武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段として
- 国連憲章: 第2条4項: すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも、慎まなければならない。

9条で放棄した二つの戦争は国際条約で放棄したもの

まとめ

- 9条で放棄した二つの戦争は、**国際条約ですでに放棄**している。
- 9条は「自衛のための武力行使」を放棄していない。**前文でその放棄を宣言**している。
- このような現行憲法は、占領軍の撤退後、国連軍が機能することを前提としていた。
- 国連軍の替わりを日米安保条約による米軍と、**憲法前文と矛盾する自衛隊**がしてきた。
- もし「自衛のための武力」を持つなら、国防軍ではなく“国連地球防衛隊”くらいの名前にし、日本国民および国連の監視下に置き、日本の自衛と国連PKOを任務としたい。